

真田地域「地域まちづくり方針」

ア 真田地域の地域特性と発展の方向

真田地域には、自然環境に恵まれた真田氏発祥の郷としての歴史に培われた数多くの資源と、菅平高原に代表される若者から高齢者まで幅広い世代をひきつけるスポーツリゾートとしての特性があります。地域の豊かな自然環境を活用しながら保全し、大切に後世に伝えるとともに、市全域の大きな枠組みにおいて、これら魅力的な資源と特性を連携させた地域の振興を図り、交流人口の拡大につなげていきます。

また、福祉施設も多く点在し、地域で支えあう福祉活動も盛んに展開されています。今後も生活環境の整備を進め、市街地近郊の魅力ある居住空間の形成を目指すとともに、福祉と健康の里として、住みやすく潤いのあるまちづくりを進めます。

イ まちづくり方針

① 創意と工夫の地域づくりの推進

自然や歴史・文化と調和した真田地域らしさを、新市のもつ多様な個性の一つとして際立ったものにしていくため、住民自治の理解を深め、住民自らの手によって地域の住環境整備を実現する事業を積極的に推進し、地域の連携やふるさと意識の醸成を図ります。

これまで真田地域で行ってきた「地域づくり委員会」を継続発展させ、地域の様々な団体と連携するなかで、市民との協働による住みやすく潤いのあるふるさとづくりを進めます。

また、災害等緊急時の情報収集方法や伝達手段、地域ネットワークの充実を図りながら高度情報社会に対応した高速情報通信基盤を活用して、生活の利便性の向上、更には観光産業などの振興にも結びつけていきます。

② 魅力ある農業の推進

真田地域の自然環境と調和した農業生産基盤整備を推進し、低コストで生産性の高い農業経営の確立に努め、特産加工品の開発や地域ブランドの確立に取り組み持続的な農業を目指します。また、優良農用地の遊休荒廃地化に歯止めをかけるため、有害鳥獣被害や荒廃が懸念される農地の情報収集に努め、農地の有効活用と集積化を推進します。更に認定農業者の育成強化に努め、後継者や新規就農者の拡大を図ります。加えて小規模農家対策にも努めます。

新たなる取り組みとして、観光産業と連携を図りながら、農業体験やグリーンツーリズムの推進により都市等との交流を積極的に進めるとともに、人と人との絆を大切にする農村文化の伝承に努め、郷土料理の創作など農業の活性化を図ります。

③ 特色ある観光の振興

既存の観光資源の有効活用や整備を積極的に進めます。観光地として地域住民自らが、おもてなしの心を育む活動に取り組み、研修や実践活動を通じ、農村観光のまちづくりを目指します。

上信越高原国立公園に位置し雄大な自然環境に囲まれた菅平高原と四阿高原においては、各種スポーツ合宿や自然体験を中心とした観光振興を進めます。菅平高原では、地元住民自らが策定したスポーツリゾートを核とした「信州菅平高原振興ビジョン」を検討しながら、地域間競争に勝ち抜ける環境整備を進めます。

真田地域においては、真田氏発祥の郷としての歴史を踏まえ、地域の生活・文化などに触れる参加・体験型の観光を進め、産学官民連携による観光地づくりに取り組みます。

④ 地域の活性化に向けた交通ネットワークの整備

地域の発展のためには、さまざまな分野での交流を促進する基盤となる交通ネットワークの整備が求められています。上信自動車道整備促進や国道 144 号、406 号などの広域幹線道路と日常生活に密着した生活道路の一体的な整備と相互の連携を進めることにより、地域経済の活性化を促進し、交流人口の拡大を図るとともに魅力ある居住空間の形成を目指します。

中でも、安全で快適な通勤通学を実現するため、国道 144 号上野バイパスの建設は地域住民総意の要望となっており、早期整備に向けて積極的に取り組みます。また、住民生活の利便性の向上が図られるよう、公共交通機関の確保・充実に努めます。

⑤ 安心して暮らせる地域づくり

真田地域では、地域や家庭で手と手を取り合う地域ぐるみの福祉を推進し、健康と福祉のまちづくりに取り組んできています。

少子高齢社会を迎え、求められる地域医療体制の充実、安心して子育てができる環境整備や地域みんなで支え合う保健・医療・福祉・教育・防災体制の確立に努めるとともに、各分野の相互連携を図り、地域住民の誰もが将来にわたり健康で安心して暮らせる地域づくりを目指します。

⑥ 地域に根ざした生涯学習と生涯スポーツの促進

世代を超えた多くの人たちが参加できる身近な芸術・文化活動や主体的な創造活動によって地域文化を高めるため、図書館や公民館を核として住民自らが学ぶ生涯学習の環境づくりを積極的に推進していきます。

また、生涯を通じて健康で豊かな日々を過ごすため、だれもが自分に合ったスポーツに親しむことができる環境整備に取り組みます。